



白石市⇄聖ラファエル・カトリック・スクール・カウラとの国際交流

NEWSLETTER

2023 年特別編集号

編集・発行：白石市国際交流協会事務局（白石市まちづくり推進課内）

2023 オーストラリア友好親善訪問団

| 7月24日（月）～8月2日（水）

5 日間のホームステイを終えて・・・お世話になった生徒・先生とお別れ@聖ラファエル校門前



❖ 2023 年度 オーストラリア友好親善訪問団 ❖

- 期 間：7月24日（月）～8月2日（水）の10日間
- 内 容：ホームステイ5泊、学校体験2日間
- 訪問団：市内中学2年生8名、引率者2名

✧ 出発前の訪問団の目標 ✧

- ・自分を成長させる
- ・コミュニケーション力をつける
- ・日本との違いを学び理解する
- ・不安だけど自分を変える
- ・文化や考え方、価値観の違いを知る
- ・英語力をのばし、交流を深める

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オーストラリアへの派遣事業を中止しておりましたが、2023 年度は規制緩和の方針を受け、オーストラリア友好親善訪問団の派遣を4年ぶりに実施しました。日本と深い繋がりのあるオーストラリアのニュー・サウス・ウェールズ州カウラ市にある聖ラファエル・カトリック・スクール・カウラとの交流は2017年にスタートし、同校への訪問は今年で4度目となります。10月には、同校の生徒と教員が来白し、学校体験と学校でお世話になる生徒宅を訪ねる相互交流が実現します。

訪問団の生徒は、聖ラファエル校に通う生徒宅にホームステイしながら同校に通い、授業体験と発表を行いました。

それでは、滞在の様子を紹介します。

◆シドニー到着

| 7月25日(火)



▲オペラハウスをバックに。



▲ボンダイビーチで。

1年中サーフィンやジョギングでにぎわっている人気スポット。

◆シドニー出発→ブルーマウンテン経由カウラ到着→ホストファミリーと対面

| 7月26日(水)



●14:45 聖ラファエル校に到着。ミシェル・デシャン校長と数名の教員とあいさつした後、ホストシスター・ブラザーと対面。

ホストファミリーと合流してホームステイがスタート!! ここでの訪問団の気持ちは・・・。

《言葉も違うホストファミリーと 5 日間過ごせるかな。不安だな》《とても緊張していて会ったときはあまり会話がで
 きなかった》《ホストファミリーが優しく声をかけてくれて安心した》《実際にホストファミリーと会って、これからのホーム
 ステイがより楽しみになると感じた》

◆聖ラファエル・カトリック・スクール・カウラ校とオーストラリアの学校生活



●聖ラファエル・カトリック・スクール・カウラについて●

- ・私立のカトリックの完全一貫校。
- ・幼稚園児から高校 3 年生までが通う。
- ・2023 年度の全校生徒数：489 名
(初等部：287 名、中高等部：202 名)
- ・礼拝堂があり、1 年を通して特別な日にはミサ（祭儀）を行う。

●オーストラリアの学校生活●

- ・学校の年度は、1 月下旬から 2 月上旬に始まり、12 月中旬に終了
(州によって異なる)。
- ・放課後のクラブ活動はなし。1 日の授業が終わると一斉下校する。
生徒は地域のスポーツクラブに所属し活動している。
- ・学年の呼び方は、6 年生以降も 7 年生、8 年生、9 年生と、12 年生まで続けた呼び方をする。
- ・日本の学校で行っている清掃活動はない。清掃は専門業者が行う。
- ・学校ではスナック菓子の持ち込みが許されている。

◆学校体験 1 日目～校外活動

| 7 月 27 日 (木)



- 9:00 スクールバスで出発し、捕虜収容所跡地へ。1944 年 8 月 5 日、多くの日本軍捕虜が脱走し、オーストラリア人を含む 235 名もの命が犠牲になりました。そして、日本人墓地へ移動。多くの若者も亡くなっていることに驚きとショックを受け、平和への思いを強くした瞬間です。



- 12:00 日本庭園・文化センターへ移動し昼食。ホストファミリーが用意してくれたお弁当に感謝!(^^)!



- 14:30 牧場を訪問。
たくさんの羊や馬などと触れ合いました。
羊を捕まえたり、赤ちゃん羊に餌を与えたりして
楽しい時間を過ごすことができました。



◆学校体験 2 日目～全体発表とグループ発表、通常授業の体験

| 7 月 28 日 (金)



●9:00 セレモニー開始。聖ラファエル校の生徒による先住民族の衣装を纏い歓迎の舞を披露後、訪問団長とデシャン校長との記念品交換。
白石の生徒による発表を聴きに中高等部の生徒約 200 名が集まりました！



★訪問団代表によるあいさつ



▲対面式で



▲発表始まりのあいさつで

▲発表終わりのあいさつで



★感想★《自分たちの発表にとっても喜んでくれて、こんなに喜んでくれるんだと思うと自分もうれしい気持ちになった》《一生懸命に準備をして良かった》《とても緊張したけど、想像以上に盛り上がり楽しかった》《ラファエルの生徒が日本の文化を学ぼうとしていた》《伝えることがこんなに幸せな気持ちになれるということを知った》



★感想★《ホストシスターのお友達も優しくお話してくれた》《できたことがあると褒めてくれて、こんなに人も優しいのだと実感した》《授業体験ではたくさんの友だちができた》《みんなの明るさに自分も明るくなった。たくさん質問してくれたので自分もたくさん質問した》

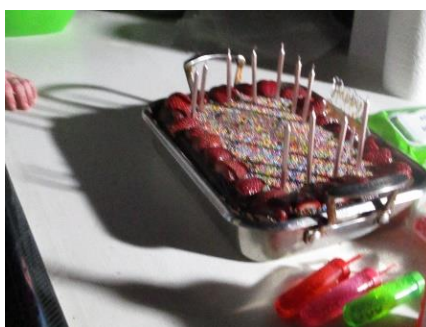


◆ホームステイ・ボンファイヤー

| 7月26日(水)～7月30日(日)



●7月29日(土) あるホストファミリーの家に全員集合し、焚き火とバーベキューでマッシュマロやソーセージを焼いて、思いっきり日本語を話しました！
滞在中に誕生日を迎えた団員にはバースデーケーキが用意されていました。少し肌寒かったです・・・(^.^;



引率者もホームステイしました



★ホームステイの感想★《言葉が違う家で過ごせるか不安だったけど、ホストファミリーはとても親切だった》《最後の日は寂しい気持ちになった》《ホストファミリーの優しさを感じた》《休日はホストシスターのネットボールの試合を応援しに行った》《10月にはホストシスターが来るので、また会えると思うと楽しみでワクワクが止まらない》《今度は私の番。楽しく過ごしてもらえたらと思う》《休日が一番のホームステイの思い出。動物園・ラグビー観戦、おばあちゃんの家を訪れホストファザーの誕生パーティをしました》《乗馬をしたり動物園に行ったりたくさん思い出ができた》《ホームステイの最初の夕食はサーモンが出てきて、肉ばかりだと思っていたので意外だった》《日本からのお土産を渡すととても喜んでくれた》《朝食の目玉焼きご飯に使われていたお米が日本のお米とは全く違う味だった。10月に白石に来るので美味しいお米を食べさせたいと思った》《猫、アルパカ、犬などたくさんの動物を飼っていたのでたくさん触れ合うことができた》《ホストファザーが農家で羊を飼っていたので、子羊を抱っこしてミルクを与える仕事のお手伝いをした》

◆お別れ

| 7月31日(月)



●8:30 校門前に集合。再会を約束して、笑顔で手を振って見送ってもらいました。“See you again in Shiroishi～”



◆クレアシドニー事務所訪問→タロンガ動物園

| 8月1日(火)



●10:00 自治体国際化協会（クレア）シドニー事務所を訪問し、シドニーでの生活や仕事内容についてのお話を聴く。昼食は中華料理店で。



●13:00 オーストラリアで最古で最大級の、タロンガ動物園を訪問。アザラシショーやバードショーを見学。規格外のスケールで驚いた訪問団員もいました。この後はシドニー空港へ。オーストラリアでの研修も終わりです。

◆オーストラリア派遣事業を振り返って...



●戦争捕虜収容所・戦争墓を訪れて...

《戦争や当時の日本人兵士について初めて知ったことがたくさんあり驚いた。そして、オーストラリアの人たちが日本との繋がりをとても大事にしてくれていることを知った》《景色やお話を聞いて、平和はいつまでも大切にするべきだと改めて感じた》

●学校体験やホームステイを通して...《言語や文化の壁は自分が考えているよりも高くないのだとわかった》《異文化の人とのコミュニケーションをとることへの面白さを知ることができた》《みんな同じ人間なんだ》《自分の考えはきちんと言葉にしないと伝わらないんだと気付いたし、伝わったときの喜びを知った》《家族みんなで協力することの楽しさは日本と変わらない》《オーストラリアと日本の違いをたくさん学べた》《これからはもっと英語を勉強し英語力を向上させたい》



◆白石市国際交流協会事務局（白石市役所まちづくり推進課内）◆

電話 0224-22-1327 Eメール koryu@city.shiroishi.miyagi.jp